

事業番号	16 01 05	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	航空機運用経費			担当課	部局	警察本部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	地域課		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 1 犯罪のない安全な社会づくり		E-mail	police-chiiki@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	S55 ~		
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	国家公安委員会規則等に航空隊の任務として規定されている警察用航空機(ヘリコプター)による上空からの警ら、遭難者の捜索救助並びに災害警備、初動捜査及び交通情報収集等警察業務の支援を行い、もって安全で安心な県民生活を確保する。				
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山岳遭難の発生は依然として多発傾向(H25年:300件、H26年:272件)にあることから、迅速で安全な救助活動を実施するため航空機を効果的に活用し、人命救助に寄与している。 ○ 災害発生時における情報収集、犯罪発生時の初動捜査等、航空機により上空から所要の警察活動を展開し、県民生活の安全確保に寄与している。 				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察法施行令、警察官職務執行法			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	警ら、遭難者の捜索救助並びに災害警備、初動捜査及び交通情報収集等警察業務の支援を行い、もって安全で安心な県民生活を確保する。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績		H29
			(当初)	(決算)	(当初)
1. 航空機運航維持管理経費	直接	・整備用消耗品、燃料費、修繕料、特別点検料等		425,774	
2. 操縦士、整備士資格取得経費	直接	・旅費、試験手数料、資格取得訓練委託料		40,185	
3. ヘリコプターテレビシステム高度化事業	直接	・改修工事費等		71,972	
		合計	545,581	511,334	537,931

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	776,810	545,581	537,931				目標	成果		達成状況
	補正予算	-118,009			出動(飛行)時間	725時間	600時間以上	600時間以上	630時間	達成	600時間以上
	合計(A)	658,801	545,581	537,931							
	一般財源	322,363	232,022	349,010							
	県債	140,000	186,000	71,000							
	国庫支出金	196,438	127,559	117,921							
	その他	0	0	0							
	決算額(B)	611,883	511,334								
概算人件費	職員数(人)	16.00	15.00	15.00							
	概算人件費(C)	132,416	118,710	118,710							
概算事業費(B(A)+C)		744,299	630,044	656,641							

目標に対する成果の状況	<p>次に掲げるような警察活動の現場において、航空機の特性を活かした効果的な運用を行い県民の安全と安心を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地上での救助活動が困難な山岳遭難事案等において、航空機による迅速な救助を実施 ○ 事件・事故発生時、上空からの捜索等の初動警察活動を行ったほか、地上捜査員と連携した検挙活動を実施 ○ 大規模警備における上空からの警戒活動を実施
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>県民の安全と安心を確保するため、「やまびこ1号」及び「やまびこ2号」の2機体制の下、警察用航空機を積極的に現場投入し、その特性を活かした効果的な運用を図る。</p>